

# 小学校 第2学年 算数科 学習指導案

北海道芦別市立芦別小学校  
教諭 栗山 崇志

**単元名** 1000より大きい数(7時間)

**単元のねらい** 4位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方を理解し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考える力、及び百を単位としてみて、何百の加法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数を表すことに進んで関わり、数のまとまりに着目して数えたり表したりすることのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。

**本時のねらい** 10000のよみ方、書き方を理解する。(第4時)

**指導時期** 2月上旬～中旬

## 「指導者用デジタル教科書(教材)」活用の意図・目的

本単元では、4位数までの数と10000を指導する。数の範囲を4位数まで拡張するとき、十進位取り記数法の仕組みをもとにして、3位数までの数の学習から類推して考えることが大切である。

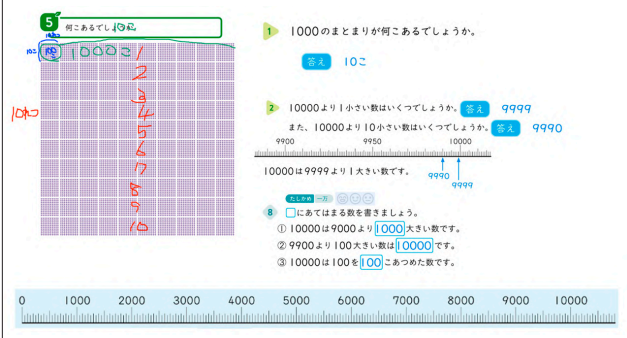
「10のまとまりが10個で百」という新しい単位をつくったことと同様に、「100のまとまりが10個で千」という単位がつけられるという単位の考えに着目させたい。

「指導者用デジタル教科書(教材)」の活用により、10のまとまりや100のまとまりに着目させ、1000と10の関係性や、10や100のまとまりを捉え工夫して考えることをとおして、10000の数の大きさについて理解を深められることを期待したい。

### 本時(第4時)の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「指導者用デジタル教科書(教材)」の初期画面を開いて、コンテンツを起動する。</li> <li>● 写真を提示し、花の数を工夫して数える。  <b>T</b>：何が並んでいますか。  <b>C</b>：チューリップだ。  <b>C</b>：たくさん咲いているね。  <b>C</b>：何個くらいあるかな。</li> </ul>	 

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
展開	<p><b>T</b> : (教科書 p.77 の図を示して) 花の数を数えましょう。</p> <p><b>C</b> : 多すぎて数えるのが大変。</p> <p><b>C</b> : 工夫して数えられるかな。</p> <p><b>C</b> : 1つのまとまりはいくつだろう。</p> <p><b>T</b> : どうやって数えたらいいかな。</p> <p><b>C</b> : 10個ずつ10列あるから100個だ。</p> <p><b>C</b> : 100のまとまりが横に10個並んでいるから横1段で1000個ある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書 p.77 の図をスライド機能で提示する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>スライド内で「ズーム」機能を用いて、100のまとまりや1000のまとまりに着目できるようにする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>10000の表し方を知る。</li> </ul> <p><b>T</b> : 1000のまとまりは何個ありますか。</p> <p><b>C</b> : 10個。</p> <p><b>C</b> : 1000が10個だ。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>10000について、<b>動画</b>で確認する。</li> </ul>
	<p><b>T</b> : 1000のまとまりが10個でいくつといえいいのかな。 (1000を10個集めた数を一万といい、10000と書くことを知らせる。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数直線を用いて10000までの数の順序について理解させる。</li> </ul> <p>(原点の0が示されていないので、数が書かれている目盛りから最小の目盛りがいくつを表すかを判断できるようにする。)</p>
	<p><b>T</b> : 10000より1小さい数や10小さい数はいくつですか。</p>	

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習を振り返り、まとめる。</li> <li><b>T</b>：1000を10個集めた数はどんな数でしたか。</li> <li><b>C</b>：10000</li> <li><b>T</b>：10000はどんな数ですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 10000について、子どもたちからいろいろな見方を引き出せるように、本時で取り組んだ図や問題を（プレゼンテーションソフト等を用いて）一覧表示する。</li> </ul> 

### 「指導者用デジタル教科書(教材)」を活用したことで得られた効果

本時では、「100のまとまりが10個集まると1000という数になった」ことから類推し、「1000が10個集まると10000という数になる」ことを見通させたい。

4位数や10000になると1つ1つの数を数えることは容易なことではないため、10000という数の量感をつかむために、10や100、1000という数のまとまりに着目させることが必要である。「指導者用デジタル教科書(教材)」のスライド機能で、さらにズーム機能を利用することで、縦方向・横方向のそれぞれのまとまりに児童の思考を焦点化させることができ、「10個が10列並んでいること」「100個が10列並んでいること」を児童に気づかせることができた。

これによって「100のまとまりが10個で1000」「これがさらに10個で10000」という十進数の見方を生かして数を捉えようとする態度の伸長に効果が見られた。